

第1章 放射線を帯びた希望 13

核エネルギーへの畏怖と希望／元素転換の発見／錬金術、そして黙示録との関わり

第2章 放射線を帯びた恐怖 25

「最終兵器」をめぐる議論／世界の終わりの想像力／科学技術への愛憎

第3章 ラジウムは万能薬か？ あるいは毒か？ 39

ラジウムへの熱狂／生命に関する神話／光線をめぐる信仰／不安を凌駕したラジウムへの期待

第4章 秘密・全能者・怪物 51

禁断の秘密との接触／真実の発見とそれによる処罰／科学者と怪物の同一性
ステレオタイプ化された科学者たち

第5章 世界の破壊者 67

核分裂の発見とマンハッタン計画／原爆投下の経緯／史上初の核実験

第6章 広島からのニュース 79

原爆投下の衝撃／原爆の身体的・心理的影響／原子科学者たちの戦後構想／核を管理せよ！

第7章 国防 97

民間防衛への取り組み／国防の手段としての水爆開発

第8章 平和のための原子力 109

初の水爆実験／科学技術のユートピア／実業家たちの動向

第9章 良い原子力、悪い原子力 121

平和利用キャンペーンの内実／キャンペーンの物語構造

第10章 新たな冒険 133

核実験と放射性降下物／核の恐怖と特撮映画／巨大生物とマッド・サイエンティスト

第11章 死の灰 151

日本の反核運動／遺伝子損傷の不安／放射性降下物のリスク／恐怖の「置き換え」

第12章 生存の想像力 167

『渚にて』と世界の終わり／廃墟のイメージと田園風景への憧憬／核戦争を描いたフィクション

第13章 生存の政治学 185

反核運動の再高揚／シンクタンクと核戦略の狂気

第14章 シェルターを求めて 197

核シェルターの「ブーム」／キューバ危機／関心の急激な低下とその理由

第15章 フェイル・セイフ 211

博士の異常な愛情／核兵器から原子炉へ／高速増殖炉への期待と不安

第16章 原子炉の恩恵と弊害 231

原発設置反対運動／多様な原発PRとニュープレックス

第17章 過熱する論争 243

ABM論争／放射性廃棄物をめぐる論争／核兵器の恐怖から原発の恐怖へ／環境保護運動の台頭

第18章 エネルギーの選択 263

リスクとベネフィット／原発と他産業との比較／若者たちの異議申し立て／ヴィール原発反対闘争

第19章 文明か解放か 277

対立が二極化する要因／スリーマイル島での原発事故

第20章 時代の転換 299

新冷戦と反核運動／スター・ウォーズ計画と核の冬／チェルノブイリ

第21章 第二の核時代 315

「原子カルネッサンス」と最終処分場／退潮する核のテーマ／フクシマがもたらしたもの

第22章 核兵器の脱構築 331

継承された核の物語／核のリアリティーの希薄化／ポストモダンの核イメージ

第23章 暴君とテロリスト 343

独裁者によるテロリスト集団への支援／冷戦終戦後の新たな敵／テロリストとスパイ
九・一一の衝撃／「大量破壊兵器」の嘘とイラク侵攻

第24章 現代の秘薬 361

秘薬となった核エネルギー／UFO現象が意味したもの／核エネルギーを表す様々なシンボル

第25章 美的な元素転換 371

「不安の時代」の到来／地球温暖化という新たな不安